科目名	キャリア教育(1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み、 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
2	4月24日	講義・演習	週報記載/面談スケジュール/ 青本で学校を理解する/	レポート
3	5月8日	講義・演習	週報記載/現場参加の心構えをする/便覧	レポート
4	5月15日	講義・演習	週報記載/メールの書き方 送り方 与える印象を理解する	ワークシート提出
5	5月22日	講義・演習	週報記載/電話の取り方/かけ方 与える印象を理解する	ワークシート提出
6	5月29日	講義・演習	週報記載/プロ意識とは何か。 自己評価点検を行う/生活習慣の見直し	ワークシート提出
7	6月5日	講義・演習	週報記載 グループワークにてコミュニケーションを学ぶ	ワークシート提出
8	6月12日	講義・演習	週報記載 音楽業界への基礎知識を理解する	ワークシート提出
9	6月19日	講義・演習	週報記載 就職活動における企業を調べるツールを理解する	ワークシート提出
10	7月3日	講義・演習	週報記載 就職活動の方法を理解する	ワークシート提出
11	7月10日	講義・演習	週報記載 ミッションステートメントを書く	ワークシート提出
12	7月17日	講義・演習	週報記載 履歴書の書き方講座 事例検討をする	ワークシート提出
13	8月21日	講義・演習	週報記載/履歴書の書き方を理解する	ワークシート提出
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(2)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み、 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	レポート
2	10月16日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	レポート
3	10月23日	講義・演習	週報記載/就職活動 スーツの着こなしを学ぶ	レポート
4	10月30日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
5	11月6日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
6	11月13日	講義・演習	週報記載/就職活動 プラットフォームへの理解する	ワークシート提出
7	11月20日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート提出
8	11月27日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート提出
9	12月4日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート提出
10	12月11日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート提出
11	12月18日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート提出
12	1月15日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/ 2年生の目標設定	ワークシート提出
13	1月22日	講義・演習	1年間の振り返り、2年へ向けて	ワークシート提出
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習		前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み、 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
2	4月24日	講義・演習	週報記載/1年間の目標設定	レポート
3	5月8日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	レポート
4	5月15日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
5	5月22日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
6	5月29日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
7	6月5日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
8	6月12日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
9	6月19日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
10	7月3日	講義・演習	週報記載 自分自身の理解	ワークシート提出
11	7月10日	講義・演習	週報記載 就職活動確認/リクエスト授業	ワークシート提出
12	7月17日	講義・演習	週報記載/ リクエスト授業	ワークシート提出
13	8月21日	講義・演習	週報記載/音楽業界について調べる	ワークシート提出
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(4)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み、 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	レポート
2	10月16日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	レポート
3	10月30日	講義・演習	週報記載/就職活動 スーツの着こなしを学ぶ	レポート
4	11月6日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
5	11月13日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
6	11月20日	講義・演習	週報記載/就職活動 プラットフォームへの理解する	ワークシート提出
7	11月27日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート提出
8	12月4日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート提出
9	12月11日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート提出
10	12月18日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート提出
11	1月15日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート提出
12	1月22日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認	ワークシート提出
13	2月5日	講義・演習	就職に向けて	ワークシート提出
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Back Dancer A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	バックダンサーを目指す生徒がバレエを始めとしたベーシックレッスンを受けた上で当レッスンを受け、バックダンサーに必要なスキルとテクニックを身につけることを目的とする。 アーティストを影でサポートするダンスのプロフェッショナルになってもらうべく、バックダンサーとして必要なスキルやテクニックの習得は勿論、構成や振付の意図を汲む作業にも取り組み、人として成長してもらえるようなレッスン内容にする。						
到達目標	振り付けの意図を汲み、周りのダンサーとの協調性を持ちながらしっかりと自分の身体を通して熱量を伝えるパフォーマンスができるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	ウォームアップ、身体への理解を深める	ウォームアップの復習
2	4月25日	講義・演習	振り付けの習得スピードを早める	振り付けの復習、次回への準備
3	5月9日	講義・演習	振り付けへの理解力を高めることができる	振り付けの復習、次回への準備
4	5月16日	講義・演習	ユニゾンを意識し、周りとの協調性を持って踊る	1曲の振り付けの振り返りと反省
5	5月23日	講義・演習	振り付けの習得スピードを早める	振り付けの復習、次回への準備
6	5月30日	講義・演習	振り付けへの理解力を高めることができる	振り付けの復習、次回への準備
7	6月6日	講義・演習	構成やユニゾンへ身体を対応させていくことができる	振り付けの復習、次回への準備
8	6月13日	講義・演習	パフォーマンスを通してしっかりと見せ切る	1曲の振り付けの振り返りと反省
9	6月20日	講義・演習	振り付けの習得スピード更に早める	振り付けの復習、次回への準備
10	7月4日	講義・演習	振り付けへの理解力を高めることができる	振り付けの復習、次回への準備
11	7月11日	講義・演習	構成やユニゾンへ身体を対応させていくことができる	振り付けの復習、次回への準備
12	7月18日	講義・演習	パフォーマンスを通してしっかりと見せ切る	1曲の振り付けの振り返りと反省
13	8月22日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して業バックダンサーを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して業バックダンサーを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Back Dancer A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	バックダンサーを目指す生徒がバレエを始めとしたベーシックレッスンを受けた上で当レッスンを受け、バックダンサーに必要なスキルとテクニックを身につけることを目的とする。 アーティストを影でサポートするダンスのプロフェッショナルになってもらうべく、バックダンサーとして必要なスキルやテクニックの習得は勿論、構成や振付の意図を汲む作業にも取り組み、人として成長してもらえるようなレッスン内容にする。						
到達目標	振り付けの意図を汲み、周りのダンサーとの協調性を持ちながらしっかりと自分の身体を通して熱量を伝えるパフォーマンスができるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	ウォームアップ、身体への解釈を再確認する	ウォームアップの復習
2	10月17日	講義・演習	振り付けの習得スピードを早める	振り付けの復習、次回への準備
3	10月24日	講義・演習	振り付けへの理解力を高めることができる	振り付けの復習、次回への準備
4	10月31日	講義・演習	ユニゾンを意識し、周りとの協調性を持って踊る	1曲の振り付けの振り返りと反省
5	11月7日	講義・演習	振り付けの習得スピードを早める	振り付けの復習、次回への準備
6	11月14日	講義・演習	振り付けへの理解力を高めることができる	振り付けの復習、次回への準備
7	11月21日	講義・演習	構成やユニゾンへ身体を対応させていくことができる	振り付けの復習、次回への準備
8	11月28日	講義・演習	パフォーマンスを通してしっかりと見せ切る	1曲の振り付けの振り返りと反省
9	12月5日	講義・演習	振り付けの習得スピード更に早める	振り付けの復習、次回への準備
10	12月12日	講義・演習	振り付けへの理解力を高めることができる	振り付けの復習、次回への準備
11	12月19日	講義・演習	構成やユニゾンへ身体を対応させていくことができる	振り付けの復習、次回への準備
12	1月16日	講義・演習	パフォーマンスを通してしっかりと見せ切る	1曲の振り付けの振り返りと反省
13	1月23日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通して業バックダンサーを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して業バックダンサーを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永・ 小久保奈々
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	JYJ,東方神起 バックダンサー						
授業の学習 内容	①ウォームアップ(ボディーコントロール,柔軟性の向上) ②アイソレーション(基礎習得) ③筋トレ(体力,持久力の向上) ④振付						
到達目標	踊る上で必要な身体作り、基礎をしっかりと身につけ土台をつくる。 振付を正確に覚え、表現力を高めることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	振付①基礎や身体の使い方を身につける	自分自身の目標を立てる
2	4月25日	講義・演習	振付を正確に覚え、体を大きく使うことを意識する	自分の踊りをよく見直す
3	5月9日	講義・演習	アクセントを意識し、踊りに緩急をつける	曲をよく聞いてポイントとなる音を覚える
4	5月16日	講義・演習	体のラインや角度、指先、目線まで意識する	細かいところまでよく研究する
5	5月23日	講義・演習	振付②少しずつ表現力を高めていく	曲の歌詞や意味、世界観を調べて理解する
6	5月30日	講義・演習	自分のイメージを固める	何度も曲を聞いてどう表現したいか明確にする
7	6月6日	講義・演習	表現のパリエーションを増やす	他のダンサーの表現を観察し吸収する
8	6月13日	講義・演習	振付③自分らしい魅せ方を考える	自分が好きな人の魅せ方を真似したり参考にする
9	6月20日	講義・演習	自分に合ったスタイルを最大限に魅せる	自分のスタイルを明確にし、よく研究する
10	7月4日	講義・演習	ダンスを見せ合い意見交換する	自分のダンスを撮る、見る、の反復練習
11	7月11日	講義・演習	テスト	踊り込み/レポート提出
12	7月18日	講義・演習	フィードバック	指摘されたこと、自分に足りないことをメモする
13	8月22日	講義・演習	振付④学んだことを活かして実践する	反復練習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して業K-popを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して業K-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			ダンスの映像やアー写など沢山撮ってもらう	
【使用教科書・教材・参考書】				
好きなアーティストのMV,LIVE映像				

科目名	K-POP A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永 ・ 小久保奈々
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	JYJ,東方神起 バックダンサー						
授業の学習 内容	①ウォームアップ(ボディーコントロール,柔軟性の向上) ②アイソレーション(基礎習得) ③筋トレ(体力,持久力の向上) ④振付						
到達目標	基礎や基本ステップを習得した上で、表現力やパフォーマンスの質の向上を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	振付①振りを正確に覚える	基礎練習
2	10月17日	講義・演習	全体的にクリアに、メリハリをつけて踊る	曲をよく聞いてポイントとなる音を覚える
3	10月24日	講義・演習	ただ踊るだけではなく表現することを意識する	曲の歌詞や意味、世界観を調べて理解する
4	10月31日	講義・演習	振付②自分らしい魅せ方を考える	自分が好きな人の魅せ方を真似したり参考にする
5	11月7日	講義・演習	他者から見た自分のダンスを想像する	自分の踊る映像を客観視して研究する
6	11月14日	講義・演習	見られている意識で最大限魅せることを実践する	他の授業でも意識して実践してみる
7	11月21日	講義・演習	振付③パフォーマンス力を高める	振りの正確性を重視して練習
8	11月28日	講義・演習	グループ分けして構成を作る	1アーティストの映像など参考にする
9	12月5日	講義・演習	パフォーマンスを見せ合う	いろんな表現を観察して吸収する
10	12月12日	講義・演習	テストに向けて練習	踊り込み
11	12月19日	講義・演習	テスト予定	レポート課題
12	1月16日	講義・演習	フィードバック	指摘されたこと、自分に足りないことをメモする
13	1月23日	講義・演習	振付④学んだことを活かして実践する	反復練習
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通して業K-popを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して業K-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習		ダンスの映像撮ってもらう。ダンスイベントに参加する。		
【使用教科書・教材・参考書】				
好きなアーティストのMV,LIVE映像				

科目名	Lock(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ベースはダンスを楽しむ事、その中でLockを好きになってくれる人が1人でも多く現れるように指導を努める。						
到達目標	Lockの技を使ってフリーで踊れるようになる事						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	Lockの基礎ムーブ①	YouTubeなどを観てLockのイメージを持つ
2	4月25日	講義・演習	Lockの基礎ムーブ②	YouTubeなどを観てLockのイメージを持つ
3	5月9日	講義・演習	基礎プラスアインソリズム	音楽を聞いて習ったLockでアプローチ
4	5月16日	講義・演習	基礎プラスアインソリズム	音楽を聞いて習ったLockでアプローチ
5	5月23日	講義・演習	フリーでLockingを踊る	基礎をおさらい
6	5月30日	講義・演習	フリーでLockingを踊る	基礎をおさらい
7	6月6日	講義・演習	チーム分けをして皆で遊ぶセッション	Lockの技でフリーで踊る
8	6月13日	講義・演習	振付をそれぞれのチームでつくる	振付を披露しあう
9	6月20日	講義・演習	試験の課題を報告	課題を仕上げる
10	7月4日	講義・演習	課題を披露	課題を披露
11	7月11日	講義・演習	Lockの楽しさをシェア	セッションして遊ぶ
12	7月18日	講義・演習	Lockオンリーのセッションゲームなど	Lockの技を使って皆で遊ぶ
13	8月22日	講義・演習	セッションをしてLockの技を使って遊ぶ	ダンスでディスカッション
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してLockを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してLockを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Lock(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ベースはダンスを楽しむ事、その中でLockを好きになってくれる人が1人でも多く現れるように指導を努める。						
到達目標	Lockの技を使ってフリーで踊れるようになる事						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	Lockの基礎ムーブ①	YouTubeなどを観てLockのイメージを持つ
2	10月17日	講義・演習	Lockの基礎ムーブ②	YouTubeなどを観てLockのイメージを持つ
3	10月24日	講義・演習	基礎プラスアインソリズム	音楽を聞いて習ったLockでアプローチ
4	10月31日	講義・演習	基礎プラスアインソリズム	音楽を聞いて習ったLockでアプローチ
5	11月7日	講義・演習	フリーでLockingを踊る	基礎をおさらい
6	11月14日	講義・演習	フリーでLockingを踊る	基礎をおさらい
7	11月21日	講義・演習	チーム分けをして皆で遊ぶセッション	Lockの技でフリーで踊る
8	11月28日	講義・演習	振付をそれぞれのチームでつくる	振付を披露しあう
9	12月5日	講義・演習	試験の課題を報告	課題を仕上げる
10	12月12日	講義・演習	課題を披露	課題を披露
11	12月19日	講義・演習	Lockの楽しさをシェア	セッションして遊ぶ
12	1月16日	講義・演習	Lockオンリーのセッションゲームなど	Lockの技を使って皆で遊ぶ
13	1月23日	講義・演習	セッションをしてLockの技を使って遊ぶ	ダンスでディスカッション
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してLockを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してLockを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	All Dance Style (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	新しいテクノロジーを取り入れて、新しい表現が次々生み出されていくエンタメ業界を生きる為に、身体表現とテクノロジーを掛け合わせる方法を学び、研究、開発します。 [自分にしかできない]新しい組み合わせのエンターテイメントが創出できるように、「アイデア」「テクノロジー」「身体表現」の3種類のレッスンをを行います。						
到達目標	テクノロジー×エンターテイメントを学んで総合エンターテイナーを目指す。 学生自身に社会人としての基礎力を身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	授業目的、チーム決め	自己紹介・興味のある事をまとめておく
2	4月21日	講義・演習	ブレインストーミング	自己紹介・興味のある事をまとめておく
3	5月12日	講義・演習	バックダンサーとしての基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
4	5月19日	講義・演習	ストレッチの基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
5	5月26日	講義・演習	ジャンルを学ぶ	授業の復習
6	6月2日	講義・演習	パフォーマンス制作の工程	授業の復習
7	6月9日	講義・演習	筋力トレーニング	授業の復習
8	6月16日	講義・演習	プロフェッショナルになるための心構え	授業の復習
9	6月23日	講義・演習	人間力を磨く	授業の復習
10	6月30日	講義・演習	ステージで使える表現のコツ	授業の復習
11	7月7日	講義・演習	ステップ基礎	授業の復習
12	7月14日	講義・演習	ステップ応用	授業の復習
13	8月25日	講義・演習	振りの確認	授業の復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	All Dance Style (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	新しいテクノロジーを取り入れて、新しい表現が次々生み出されていくエンタメ業界を生きる為に、身体表現とテクノロジーを掛け合わせる方法を学び、研究、開発します。 [自分にはできない]新しい組み合わせのエンターテイメントが創出できるように、「アイデア」「テクノロジー」「身体表現」の3種類のレッスンをを行います。						
到達目標	テクノロジー×エンターテイメントを学んで総合エンターテイナーを目指す						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	授業目的、チーム決め	自己紹介・興味のある事をまとめておく
2	10月13日	講義・演習	ブレインストーミング	自己紹介・興味のある事をまとめておく
3	10月20日	講義・演習	バックダンサーとしての基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
4	10月27日	講義・演習	ストレッチの基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
5	11月3日	講義・演習	ジャンルを学ぶ	授業の復習
6	11月10日	講義・演習	パフォーマンス制作の工程	授業の復習
7	11月17日	講義・演習	筋カトレーニング	授業の復習
8	11月24日	講義・演習	プロフェッショナルになるための心構え	授業の復習
9	12月1日	講義・演習	人間力を磨く	授業の復習
10	12月8日	講義・演習	ステージで使える表現のコツ	授業の復習
11	12月15日	講義・演習	ステップ基礎	授業の復習
12	1月19日	講義・演習	ステップ応用	授業の復習
13	2月2日	講義・演習	振りの確認	授業の復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	明日への扉 演技(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	発声・滑舌・姿勢などの演技に必要な基礎技術の習得 感情表現、身体表現、即興力の向上 台本を用いたセリフ練習、対話演技、集団演技 キャラクター分析と役作り シーンごとの演技構成と舞台上の動きの習得 歌唱・ダンスと統合した総合演技の練習						
到達目標	舞台上で自然な感情表現と声の使い方ができる 他者と協働して対話・集団演技を成立させられる 台本の役割を理解し、自分のキャラクターを的確に表現できる 歌やダンスと組み合わせた演技を通して、ミュージカル作品の一部として演じ切ることができる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	演技とは何か？感情表現と自己解放ワーク	
2	5月13日	講義・演習	基本的な身体表現・姿勢・呼吸法	
3	5月20日	講義・演習	声の出し方・発声練習と滑舌	
4	5月27日	講義・演習	感情をこめたセリフ読み(短文)	
5	6月3日	講義・演習	即興劇ワークショップ①(反応を大切に)	
6	6月10日	講義・演習	台本演技①(2人1組)	
7	6月17日	講義・演習	感情の起伏を表現する練習	
8	6月24日	講義・演習	シチュエーション別の演技トレーニング	
9	7月1日	講義・演習	台本演技②(集団シーン)	
10	7月8日	講義・演習	空間の使い方と動きながらの演技	
11	7月15日	講義・演習	小道具を使った演技練習	
12	7月22日	講義・演習	リハーサル①(前期まとめの通し練習)	
13	8月26日	講義・演習	リハーサル②(演出とフィードバック)	
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	明日への扉 演技(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	発声・滑舌・姿勢などの演技に必要な基礎技術の習得 感情表現、身体表現、即興力の向上 台本を用いたセリフ練習、対話演技、集団演技 キャラクター分析と役作り シーンごとの演技構成と舞台上の動きの習得 歌唱・ダンスと統合した総合演技の練習						
到達目標	舞台上で自然な感情表現と声の使い方ができる 他者と協働して対話・集団演技を成立させられる 台本の役割を理解し、自分のキャラクターを的確に表現できる 歌やダンスと組み合わせた演技を通して、ミュージカル作品の一部として演じ切ることができる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	前期の復習と役割決定・配役読み合わせ	
2	10月14日	講義・演習	台本に基づく演技練習①(自分の役に集中)	
3	10月21日	講義・演習	感情と動きの一体化トレーニング	
4	10月28日	講義・演習	共演者との呼吸合わせ・コンビネーション練習	
5	11月4日	講義・演習	シーン別に分けた演技確認①	
6	11月11日	講義・演習	シーン別に分けた演技確認②	
7	11月18日	講義・演習	シーンごとの演出確認と修正	
8	11月25日	講義・演習	通し稽古①(演技のみ)	
9	12月2日	講義・演習	歌・ダンスとの統合練習(動線確認)	
10	12月9日	講義・演習	通し稽古②(照明・道具の確認)	
11	12月16日	講義・演習	本番想定演技最終調整	
12	1月20日	講義・演習	リハーサル①(全体通し)	
13	2月3日	講義・演習	リハーサル②(公開リハまたは指導者講評)	
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	明日への扉 歌唱(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	呼吸法・発声法・滑舌などの基本的な歌唱技術の習得 音程、リズム、表現力のトレーニング 歌詞の意味理解と感情を込めた歌唱練習 ソロ・ハーモニー・コーラスの練習 舞台上での声の出し方や歌唱中の表情、動作との連動 演技・ダンスと連動した歌唱の練習と総合リハーサル						
到達目標	安定した音程とリズムで歌唱できる 歌詞に込められた感情を表現しながら歌える ソロ・グループにおける歌唱技術と協調性を身につける 動きや演技を伴う中でも歌唱を安定して行えるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	呼吸と発声の基礎(腹式呼吸)	
2	5月13日	講義・演習	音域チェックとウォームアップ方法	
3	5月20日	講義・演習	声の響きと声量のコントロール	
4	5月27日	講義・演習	ピッチ(音程)とリズム練習	
5	6月3日	講義・演習	短いフレーズでの歌唱練習	
6	6月10日	講義・演習	ハーモニー体験(複数人での歌唱)	
7	6月17日	講義・演習	歌詞の意味を理解して歌う	
8	6月24日	講義・演習	ミュージカル特有の発声法と感情表現	
9	7月1日	講義・演習	表情と歌を連動させる	
10	7月8日	講義・演習	動きながらの歌唱練習	
11	7月15日	講義・演習	配役に応じたパート練習	
12	7月22日	講義・演習	リハーサル①(前期まとめの通し歌唱)	
13	8月26日	講義・演習	リハーサル②(講評と改善)	
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	明日への扉 歌唱(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	呼吸法・発声法・滑舌などの基本的な歌唱技術の習得 音程、リズム、表現力のトレーニング 歌詞の意味理解と感情を込めた歌唱練習 ソロ・ハーモニー・コーラスの練習 舞台上での声の出し方や歌唱中の表情、動作との連動 演技・ダンスと連動した歌唱の練習と総合リハーサル						
到達目標	安定した音程とリズムで歌唱できる 歌詞に込められた感情を表現しながら歌える ソロ・グループにおける歌唱技術と協調性を身につける 動きや演技を伴う中でも歌唱を安定して行えるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	前期復習とソロ/グループ歌唱の確認	
2	10月14日	講義・演習	各キャラクターに合った歌唱スタイル練習	
3	10月21日	講義・演習	本番曲練習①(メロディとテンポ確認)	
4	10月28日	講義・演習	本番曲練習②(フレーズごとの表現)	
5	11月4日	講義・演習	歌詞と演技の融合練習	
6	11月11日	講義・演習	ハーモニーとコーラス強化	
7	11月18日	講義・演習	舞台上の声の出し方(マイク・地声)	
8	11月25日	講義・演習	歌いながらの移動・ポジション確認	
9	12月2日	講義・演習	通し歌唱リハーサル	
10	12月9日	講義・演習	演技・ダンスと合わせた練習	
11	12月16日	講義・演習	声のコンディション管理と本番準備	
12	1月20日	講義・演習	リハーサル①(全体通し)	
13	2月3日	講義・演習	リハーサル②(通しと最終確認)	
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	明日への扉 ダンス(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	姿勢・リズム感・身体の柔軟性を高めるための基礎トレーニング ミュージカルに必要なジャンル(バレエ・ジャズ・モダンなど)の基本ステップ フォーメーション、空間の使い方、グループの一体感の練習 表情や感情をのせたダンス表現の習得 歌唱・演技と統合された振付の習得 通しリハーサルによる舞台全体の流れの把握とパフォーマンス強化						
到達目標	リズムに乗って正確に動ける基本的なダンス力を身につける 振付を覚え、グループで揃って踊る協調性と集中力を養う 感情を伴った表現力豊かなダンスができるようになる 歌唱・演技と融合した総合パフォーマンスを舞台上で発揮できる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	ストレッチ・ウォームアップ・姿勢確認	
2	5月13日	講義・演習	リズムに乗る感覚を養う練習	
3	5月20日	講義・演習	ステップの基礎(バレエ/ジャズ/モダン)	
4	5月27日	講義・演習	手足の運動とボディバランス練習	
5	6月3日	講義・演習	表情とダンスの融合	
6	6月10日	講義・演習	短い振付を覚える練習	
7	6月17日	講義・演習	集団での動きの揃え方	
8	6月24日	講義・演習	リズム変化と即興ダンス	
9	7月1日	講義・演習	曲に合わせた短いコンビネーション①	
10	7月8日	講義・演習	空間の使い方・立ち位置確認	
11	7月15日	講義・演習	配役ごとの振付練習	
12	7月22日	講義・演習	リハーサル①(振付通し)	
13	8月26日	講義・演習	リハーサル②(フォーメーション確認)	
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	明日への扉 ダンス(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	姿勢・リズム感・身体の柔軟性を高めるための基礎トレーニング ミュージカルに必要なジャンル(バレエ・ジャズ・モダンなど)の基本ステップ フォーメーション、空間の使い方、グループの一体感の練習 表情や感情をのせたダンス表現の習得 歌唱・演技と統合された振付の習得 通しリハーサルによる舞台全体の流れの把握とパフォーマンス強化						
到達目標	リズムに乗って正確に動ける基本的なダンス力を身につける 振付を覚え、グループで揃って踊る協調性と集中力を養う 感情を伴った表現力豊かなダンスができるようになる 歌唱・演技と融合した総合パフォーマンスを舞台上で発揮できる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	前期振付の復習と応用練習	
2	10月14日	講義・演習	ミュージカル本編ダンス①(前半シーン)	
3	10月21日	講義・演習	本編ダンス②(後半シーン)	
4	10月28日	講義・演習	フォーメーション強化	
5	11月4日	講義・演習	演技・歌とのリンク確認	
6	11月11日	講義・演習	振付の感情表現強化	
7	11月18日	講義・演習	通し練習①(ダンスのみ)	
8	11月25日	講義・演習	全体の動線と位置関係確認	
9	12月2日	講義・演習	衣装をつけた状態での練習	
10	12月9日	講義・演習	歌との同時パフォーマンス練習	
11	12月16日	講義・演習	舞台転換含む動きの確認	
12	1月20日	講義・演習	リハーサル①(全体通し)	
13	2月3日	講義・演習	リハーサル②(総まとめ・最終調整)	
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	栄養学(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	本授業では、ダンスを専門とする学生が、自身の身体のパフォーマンス維持・向上やケガ予防、体調管理、体型コントロールのために必要な栄養学の基礎知識および応用力を身につけることを目的とする。						
到達目標	<p>本授業を通して、学生は以下の内容を達成することを目指す：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養素の役割や身体への影響について基礎的な知識を理解できる。 2. 自身のダンス活動や日常生活に必要な栄養バランスを意識した食生活を考えることができる。 3. 食事内容を記録・分析し、必要な改善点を見つけて実践に活かす力が身につく。 4. 無理なダイエットや偏った食生活のリスクを理解し、健康的な体づくりに取り組む姿勢を持てる。 5. 日々のコンディション管理やパフォーマンス維持のために、適切な栄養選択を自律的に行えるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	栄養学ってなに？栄養の基本と、なぜダンサーにとって食が大事なのかを理解する。	
2	4月21日	講義・演習	三大栄養素① 炭水化物とエネルギー源としての糖質の働きと必要性。食事の中での役割。	復習
3	5月12日	講義・演習	三大栄養素② タンパク質筋肉や細胞の修復・回復を担う栄養素。食品例と摂取のタイミング。	復習
4	5月19日	講義・演習	三大栄養素③ 脂質必要な脂と避けたい脂。脂質の役割と取り入れ方のバランス。	復習
5	5月26日	講義・演習	ビタミンの働き疲労回復や免疫力に関係するビタミンの種類と働き。	復習
6	6月2日	講義・演習	ミネラルの役割骨・筋肉・血液に関わるミネラル(カルシウム・鉄・亜鉛など)の重要性。	復習
7	6月9日	講義・演習	水分と電解質の補給パフォーマンスと水分バランス。脱水と熱中症予防。	復習
8	6月16日	講義・演習	消化・吸収のしくみ食べたものがどう身体に使われるか。内臓の働きと代謝の流れ。	復習
9	6月23日	講義・演習	食品の選び方(基本編)身近な食材・加工食品の見分け方と選び方のポイント。	復習
10	6月30日	講義・演習	栄養表示の読み方カロリー、PFCバランス、成分表示の見方を学ぶ。	復習
11	7月7日	講義・演習	栄養バランスを整える「汁三菜」「主食・主菜・副菜」の考え方を日常食に活かす方法。	復習
12	7月14日	講義・演習	前期の復習ワーク知識の確認とグループワーク。自分の生活への落とし込み。	復習
13	8月25日	講義・演習	前期末試験 基礎知識の理解度確認(筆記または選択式)。	
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して栄養学を学ぶ。	ワークシート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して栄養学を学ぶ。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	栄養学(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	本授業では、ダンスを専門とする学生が、自身の身体のパフォーマンス維持・向上やケガ予防、体調管理、体型コントロールのために必要な栄養学の基礎知識および応用力を身につけることを目的とする。						
到達目標	<p>本授業を通して、学生は以下の内容を達成することを目指す：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養素の役割や身体への影響について基礎的な知識を理解できる。 2. 自身のダンス活動や日常生活に必要な栄養バランスを意識した食生活を考えることができる。 3. 食事内容を記録・分析し、必要な改善点を見つけて実践に活かす力が身につく。 4. 無理なダイエットや偏った食生活のリスクを理解し、健康的な体づくりに取り組む姿勢を持てる。 5. 日々のコンディション管理やパフォーマンス維持のために、適切な栄養選択を自律的に行えるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ダンサーの1日の食事設計練習日・本番・休養日で異なる食事計画の立て方。	
2	10月13日	講義・演習	練習前後の食事・補食メニュー別に効果的な食べ方と軽食の工夫。補食の具体例。	復習
3	10月20日	講義・演習	疲労回復とリカバリー食糧をためない食事の工夫。抗酸化栄養素と回復レシピ。	復習
4	10月27日	講義・演習	体型管理と健康的なダイエット息な減量のリスク。代謝を落とさずに体を引き締める食生活。	復習
5	11月3日	講義・演習	鉄分不足、RED-S(相対的エネルギー不足)について。	復習
6	11月10日	講義・演習	サプリメントの正しい知識とプロテイン、ビタミン剤などの使い方と注意点。	復習
7	11月17日	講義・演習	コンビニ・外食での工夫忙しい日常の中で栄養バランスを取る実践力をつける。	復習
8	11月24日	講義・演習	食事の記録と振り返り自分の食事を記録して分析・改善につなげる方法。	復習
9	12月1日	講義・演習	食とメンタルの関係栄養と気分・集中力の関係。食事でメンタルを整える方法。	復習
10	12月8日	講義・演習	食べないリスクと摂食障害ダンサーに多い摂食障害の基礎知識と予防について。	復習
11	12月15日	講義・演習	実践ワーク:理想の1週間メニュー作り自分の目標に合わせたメニュー作成とプレゼン。	復習
12	1月19日	講義・演習	後期の復習と発表まとめとグループごとの気づき・学びのシェア。	復習
13	2月2日	講義・演習	後期末試験 応用力・実践力の確認(筆記または選択式)。	
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して栄養学を学ぶ。	ワークシート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して栄養学を学ぶ。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ボディーメンテナンス(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<p>本授業では、ダンサーが長期的に高いパフォーマンスを維持し、ケガを予防するための「身体管理・セルフメンテナンス能力」を養います。身体の仕組みを理解し、柔軟性・筋力・バランス能力を高めるとともに、日常的なセルフケアやメンタルコンディショニングにも取り組みます。 前期は基礎的な身体知識と実技を扱います。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.骨格・筋肉・関節の構造と役割を理解し、ダンスの動作に応じた身体操作ができる。 2.柔軟性・筋力・体幹バランスを養い、安全かつ効率的に身体を動かす方法を習得している。 3.ストレッチ・筋膜リリース・セルフマッサージなど、身体を整える手法を日常的に実践できる。 4.睡眠、食事、呼吸、メンタルケアなど、生活習慣を含めたコンディショニングを理解・実践できる。 5.自分の身体の課題を把握し、それに合ったメンテナンス方法を選択・継続できる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	オリエンテーションと姿勢の基礎授業の目的説明、正しい姿勢の確認と評価	
2	4月21日	講義・演習	骨格と関節のしくみダンサーが知っておきたい解剖学基礎(骨・関節)	復習
3	5月12日	講義・演習	筋肉の基本とダンスに関わる主な筋肉筋肉の種類、ストレッチとトレーニングの基礎知識	復習
4	5月19日	講義・演習	呼吸と体幹の連動呼吸法とコアの使い方による安定感向上	復習
5	5月26日	講義・演習	柔軟性トレーニング①(下半身中心) ②ストレッチの種類と安全な方法(主に下半身)	復習
6	6月2日	講義・演習	柔軟性トレーニング②(上半身中心) ③上半身の可動域と可動性アップの方法	復習
7	6月9日	講義・演習	バランスと軸の感覚を養うダンサーに必要な重心と軸の取り方	復習
8	6月16日	講義・演習	筋力トレーニング①(基礎編) 自重を使った筋力トレーニング(基礎)	復習
9	6月23日	講義・演習	筋力トレーニング②(ダンス応用) 動きに直結するトレーニング(下半身中心)	復習
10	6月30日	講義・演習	ケガの予防とテーピング基礎④あるケガと予防法、簡単なテーピング体験	復習
11	7月7日	講義・演習	日常のセルフケア①(ストレッチ&マッサージ) 自分でできる疲労回復法(道具も活用)	復習
12	7月14日	講義・演習	日常のセルフケア②(リカバリーの工夫) 睡眠、栄養、入浴など生活習慣の重要性	復習
13	8月25日	講義・演習	試験(前期内容の確認) ⑤	
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してボディーメンテナンスを学ぶ	ワークシート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してボディーメンテナンスを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ボディーメンテナンス(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	本授業では、ダンサーが長期的に高いパフォーマンスを維持し、ケガを予防するための「身体管理・セルフメンテナンス能力」を養います。身体の仕組みを理解し、柔軟性・筋力・バランス能力を高めるとともに、日常的なセルフケアやメンタルコンディショニングにも取り組みます。後期はより応用的なアプローチと個別対応を扱います。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.骨格・筋肉・関節の構造と役割を理解し、ダンスの動作に応じた身体操作ができる。 2.柔軟性・筋力・体幹バランスを養い、安全かつ効率的に身体を動かす方法を習得している。 3.ストレッチ・筋膜リリース・セルフマッサージなど、身体を整える手法を日常的に実践できる。 4.睡眠、食事、呼吸、メンタルケアなど、生活習慣を含めたコンディショニングを理解・実践できる。 5.自分の身体の課題を把握し、それに合ったメンテナンス方法を選択・継続できる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	前期の復習と個々の課題確認テストの振り返り+自分の体の課題を知る	
2	10月13日	講義・演習	足・膝・股関節のメンテナンスⅢ半身の可動性と安定性の強化	復習
3	10月20日	講義・演習	背骨・肩甲骨・首まわりのケアⅢ猫背・巻き肩対策と肩こり予防	復習
4	10月27日	講義・演習	可動性と安定性のバランス動ける体とブレない体を両立させる	復習
5	11月3日	講義・演習	フォームローラー・ボール活用法Ⅲ筋膜リリースによるセルフケア方法実践	復習
6	11月10日	講義・演習	ダンサー向けピラティス①ピラティスの基礎動作と体幹意識	復習
7	11月17日	講義・演習	ダンサー向けピラティス②応用編:動きに連動したエクササイズ	復習
8	11月24日	講義・演習	瞑想とメンタルコンディショニングⅢメンタルケア、集中力、呼吸法など	復習
9	12月1日	講義・演習	怪我後のリハビリと段階的回復Ⅲリハビリプログラムの考え方と事例紹介	復習
10	12月8日	講義・演習	栄養とボディコンディショニングⅢダンサーに必要な食事の基本	復習
11	12月15日	講義・演習	実践的セルフメンテナンスルーティンⅢ日々のケアメニューを自分で構成してみる	復習
12	1月19日	講義・演習	最終確認&発表自分の体と向き合うまとめ(実技または発表)	復習
13	2月2日	講義・演習	試験(後期内容の確認)筆記+簡単な実技テストまたは自己評価提出	
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してボディーメンテナンスを学ぶ	ワークシート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してボディーメンテナンスを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Music Theory(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 小林由佳 白鳥早也香 山城柚季 吉原佑香
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。					
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル曲作曲や楽曲アレンジができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	五線譜の各部名称とクレフ、音名を復習する
2	5月7日	講義・演習	音名	五線に書かれた音符の音名と鍵盤の位置が一致出来るように復習する
3	5月14日	講義・演習	音名、音符、休符	音名、音符、休符の表し方と連符を復習する
4	5月21日	講義・演習	音符、休符	音符、休符の表し方と連符を復習する
5	5月28日	講義・演習	拍子、複合拍子	小節線、単純拍子、複合・混合拍子、タイについて復習する
6	6月4日	講義・演習	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の区別、臨時記号の効力を学び正しい楽譜が書けるようになる
7	6月11日	講義・演習	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を迫るようになる
8	6月18日	講義・演習	音程	音程(度数の数え方、全音と半音)を復習する
9	6月25日	講義・演習	音程	音程(2.3.6.7度、# ♭あり)を復習する
10	7月2日	講義・演習	音程	音程(1.4.5.8度、# ♭あり)を復習する
11	7月9日	講義・演習	メジャースケール	メジャースケールの仕組みを復習し、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
12	7月16日	講義・演習	メジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
13	8月27日	講義・演習	マイナースケール	調号を用いてナチュラルマイナースケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
14	9月10日	講義・演習	マイナースケール	ハーモニックマイナー、メロディックマイナースケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
15	9月17日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
「ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著)滋慶教育科学研究所(監修)株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)				

科目名	Music Theory(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 小林由佳 白鳥早也香 山城柚季 吉原佑香
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。					
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル曲作曲や楽曲アレンジができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	代理コード(裏コードを含むダイアトニック外の代理コード)	メイジャー、マイナーのダイアトニックコードの代理コードとダイアトニック外の代理コードを使ってアレンジしてみる
2	10月15日	講義・演習	借用和音	マイナーキーからの借用和音を入れたコード進行を作ってみる
3	10月22日	講義・演習	転調	転調のパターンを知り、実践する
4	10月29日	講義・演習	アナライズ	楽譜と音源から楽曲分析をしてみる
5	11月5日	講義・演習	ヴォイシング	ケーデンスを実際に5線に書けるようにする(保留をしながら)
6	11月12日	講義・演習	アベイラブルノートスケール(メイジャー)	コードスケールを使ってフレーズを作ってみる
7	11月19日	講義・演習	アベイラブルノートスケール(マイナー)	コードスケールを使ってフレーズを作ってみる
8	11月26日	講義・演習	ドミナントスケール	V7に適したスケールを使ってフレーズを作ってみる
9	12月3日	講義・演習	コードに適したスケール	それぞれのコードに適したスケールを使ってフレーズを作ってみる
10	12月10日	講義・演習	その他のスケール	前回までに学んだスケール以外のスケールを使ってアレンジしてみる
11	12月17日	講義・演習	まとめ	復習をし、理解度を高める
12	1月14日	講義・演習	スコアリーディング	今までの内容を復習し理解度を高める期末テストに備える
13	1月21日	講義・演習	期末予備テスト	復習、テスト対策をし期末テストに備える
14	2月4日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策をし期末テストに備える
15	2月11日	講義・演習	テスト返却と総復習	実際に楽譜を読み、自分なりに分析し、表現に繋げる応用力を身に付ける
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
「ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著)滋慶教育科学研究所(監修)株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)				

科目名	Ear Training(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 小林由佳 白鳥早也香 山城袖季 吉原佑香
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。					
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	4月17日	講義・演習	音の歴史、モールズ信号、周波数、効果音について知る／リズム打ち・書き取り方について知る。音の高低の判定	配布された授業プリントの リズム書き取りを正確に叩けるようにする	
2	4月24日	講義・演習	4分音符、4分休符のリズム打ち／3拍子と4拍子のビート感覚を養う／2線紙を使って音の高低判定／2度音程を歌い音程感を身に付ける	配布された授業プリントの リズム打ちや書き取りを復習する	
3	5月8日	講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントの リズム打ちや書き取りを復習する	
4	5月15日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り	配布された授業プリントの リズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する	
5	5月22日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
6	5月29日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
7	6月5日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える	
8	6月12日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
9	6月19日	講義・演習	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
10	7月3日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
11	7月10日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
12	7月17日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major、Minorのコード判定	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
13	8月21日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
14	8月28日	講義・演習	期末テスト	配布された授業プリントの リズム打ちや書き取りを復習する	
15	9月11日	講義・演習	テスト返却、総復習	配布された授業プリントの リズム打ちや書き取りを復習する	
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える		
【使用教科書・教材・参考書】					
「ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著)滋慶教育科学研究所(監修)株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)					

科目名	Ear Training(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 小林由佳 白鳥早也香 山城袖季 吉原佑香
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル作曲、アレンジの能力が必要となる。 本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。					
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)メロディー書き取り(GMajor、2声メロディーは三連符導入、2声ハーモニーは2度音程導入)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
2	10月16日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)メロディー書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)コードⅣ(Ⅱm)-Ⅴ-Ⅰの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
3	10月30日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)メロディー書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)コードⅣ(Ⅱm)-Ⅴ-Ⅰの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
4	11月6日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)メロディー書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)コードⅥmを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
5	11月13日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)メロディー書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)コードⅥmを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
6	11月20日	講義・演習	曲を題材にしたリズム打ち、リズム書き取り、メロディー書き取り、メロディー書き取り(6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)コードⅥmを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
7	11月27日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	12月4日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)コードⅠ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
9	12月11日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)コードⅠ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
10	12月18日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)コードⅠ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
11	1月15日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)コードⅠ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
12	1月22日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー)コードⅠ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
13	2月5日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
14	2月12日	講義・演習	期末テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
15	2月19日	講義・演習	テスト返却、総復習	聴こえる音やリズムを正しく楽譜に書き、コードの響きや種類を聴き分けられる
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
『ゼロから始める音楽理論』喜多弘悦(著)滋慶教育科学研究所(監修)株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)				

科目名	グローバルコミュニケーション(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	5月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	5月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	5月27日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	6月3日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	6月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	6月17日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	6月24日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	7月1日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	7月8日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	7月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	7月22日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	8月26日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	9月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	9月16日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				

科目名	グローバルコミュニケーション(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	10月21日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	10月28日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	11月4日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	11月11日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	11月18日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	11月25日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	12月2日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	12月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	12月16日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	1月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	1月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	2月3日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	2月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	2月17日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 EVOLVE 1～5				

科目名	Back Dancer A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンサーとしてPV/CM/舞台/LIVE等、幅広く活躍中。ダンスカンパニー『ELEVENPLAY』メンバー						
授業の学習 内容	バックダンサーとして必要とする”揃える”ということを学び、かつ”自分らしさ”を授業の中で見つけてもらう。						
到達目標	卒業後、バックダンサーとして輝けるようにすること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	授業内容を理解する	自分になりたいものを明確にする
2	4月25日	講義・演習	ストレッチ、アイソルを学習	授業内容を復習
3	5月9日	講義・演習	振り付けを学習	振り付け復習
4	5月16日	講義・演習	振り付け2週目を学習	振り付けを自分らしく踊れるよう復習
5	5月23日	講義・演習	みんなで揃えられるようフォーメーション付け	3週分の復習、より良く踊れるよう自主練
6	5月30日	講義・演習	新しい振り付け	授業内容を復習
7	6月6日	講義・演習	振り付け2週目を学習	授業内容を復習、より良く踊れるよう自主練
8	6月13日	講義・演習	振り付け3週目、自分達でフォーメーション付け	授業内でできなかったことを復習
9	6月20日	講義・演習	新しい振り付け	授業内容を復習
10	7月4日	講義・演習	振り付け2週目を学習	授業内でできなかったことを復習、自主練
11	7月11日	講義・演習	振り付け3週目、より揃えるを意識	授業内でできなかったことを復習
12	7月18日	講義・演習	3つの振り付けを復習、発表	授業内でできなかったことを復習、自主練
13	8月22日	講義・演習	イベント実践を通して自分の魅せ方を学ぶ	レポートの提出
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してバックダンサーを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してバックダンサーを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Back Dancer A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンサーとしてPV/CM/舞台/LIVE等、幅広く活躍中。ダンスカンパニー『ELEVENPLAY』メンバー						
授業の学習 内容	バックダンサーとして必要とする”揃える”ということ学び、かつ”自分らしさ”を授業の中で見つけてもらう。						
到達目標	卒業後、バックダンサーとして輝けるようにすること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	バックダンサーとして魅せられるような身体作り	授業内で足りないと思ったところを復習
2	10月17日	講義・演習	ジャズの基礎、振り付け	授業内容を復習
3	10月24日	講義・演習	アイソレーションを復習	2週分の内容を復習
4	10月31日	講義・演習	リズムトレーニング等の基礎を復習	授業内容を復習
5	11月7日	講義・演習	ヒールでトレーニング/基礎練	授業内容を正しく理解したか復習
6	11月14日	講義・演習	前の週の内容を復習、新しいコンビネーション	自分らしさをプラスして踊れるよう自主練
7	11月21日	講義・演習	ヒールの振り付け	ヒールで綺麗に魅せられるような体作り
8	11月28日	講義・演習	ストリートジャズの振り付け1週目	内容を復習
9	12月5日	講義・演習	ストリートジャズの振り付け2週目	正しく踊れるよう、自宅トレーニング
10	12月12日	講義・演習	ストリートジャズの振り付け3週目	3週分を復習
11	12月19日	講義・演習	振り付けのフォーメーション付け	授業内容を復習
12	1月16日	講義・演習	振り付け発表	出来なかったところを正しく理解し、復習
13	1月23日	講義・演習	イベント実践を通して自分の魅せ方を学ぶ	レポートの提出
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してバックダンサーを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してバックダンサーを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永・ 小久保奈々
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	小久保:JYJ,東方神起 バックダンサー						
授業の学習 内容	①ウォームアップ(ボディーコントロール,柔軟性の向上) ②アイソレーション(基礎習得) ③筋トレ(体力,持久力の向上) ④振付						
到達目標	コアやメンタルの強化、スキルアップ、パフォーマンス力の向上、表現の幅を広げることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	振付①振りを正確に覚える	基礎練習、自分の目標を立てる
2	4月25日	講義・演習	体の角度、アクセント、緩急を意識する	曲をよく聞いてポイントとなる音を覚える
3	5月9日	講義・演習	全身を大きく動かし可動域を広げる	自分の踊りを見直し研究する
4	5月16日	講義・演習	ダンスを見せ合い意見交換する	自分のダンスを撮る、見る、の反復練習
5	5月23日	講義・演習	振付②自分の魅せ方を意識する	自分の好きな人、憧れてる人の魅せ方を研究する
6	5月30日	講義・演習	自分のスタイルを固め、表現力を高める	曲の歌詞や意味、世界観を調べて理解する
7	6月6日	講義・演習	表現のパリエーションを増やす	他のダンサーの表現や魅せ方をよく観察する
8	6月13日	講義・演習	振付③感情表現を意識する	自分の表現したいイメージを考えてくる
9	6月20日	講義・演習	自信を持って最大限に魅せることを実践する	自信を持てるまで反復練習
10	7月4日	講義・演習	どんな場面でもメンタルを強くもちパフォーマンスする	人前で踊ることに自信を持つ
11	7月11日	講義・演習	テスト	踊り込み/レポート提出
12	7月18日	講義・演習	フィードバック	指摘されたこと、自分に足りないことをメモする
13	8月22日	講義・演習	振付④学んだことを活かして実践する	反復練習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			ダンスの映像やアー写など沢山撮ってもらう	
【使用教科書・教材・参考書】 好きなアーティストのMV,LIVE映像				

科目名	K-POP B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永 ・ 小久保奈々
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	小久保:JYJ,東方神起 バックダンサー						
授業の学習 内容	①ウォームアップ(ボディーコントロール,柔軟性の向上) ②アイソレーション(基礎習得) ③筋トレ(体力,持久力の向上) ④振付						
到達目標	技術面や表現力の向上、パフォーマンスのする上での意識、大事な場面で自分を最大限に魅せられるようになることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	振付①振りを正確に覚える	基礎練習
2	10月17日	講義・演習	メリハリをつけてクリアに踊ることを意識する	自分の踊りをよく見直し反復練習
3	10月24日	講義・演習	曲に対して自分のイメージした感情を表現する	曲の歌詞や意味、世界観を調べて理解する
4	10月31日	講義・演習	魅せる意識を持って表現する	表情、感情のイメージを膨らませる
5	11月7日	講義・演習	振付②パフォーマンス力を高める	振りの正確性を重視して練習
6	11月14日	講義・演習	グループに分け構成を考える	団一ティストの映像など参考にする
7	11月21日	講義・演習	グループごとに見せ合う	いろんな表現を観察し吸収する
8	11月28日	講義・演習	振付③一回の振り入れでなるべく自分のものにする	他の授業でも常に意識してみる
9	12月5日	講義・演習	表情、全身で曲を表現することを意識する	曲をよく聞いてイメージを膨らませる
10	12月12日	講義・演習	存在感、自己アピールの意識を持つ	自分の魅せ方を明確に追求する
11	12月19日	講義・演習	テスト予定	レポート課題
12	1月16日	講義・演習	フィードバック	指摘されたこと、自分に足りないことをメモする
13	1月23日	講義・演習	振付④自分を最大限に魅せる	学んだことを常に意識して授業に取り組む
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			ダンスの映像撮ってもらう。ダンスイベントに参加する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
好きなアーティストのMV,LIVE映像				

科目名	Lock(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ベースはダンスを楽しむ事、その中でLockを好きになってくれる人が1人でも多く現れるように指導を努める。						
到達目標	Lockの技を使ってフリーで踊れるようになる事						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	Lockの基礎ムーブ①	YouTubeなどを観てLockのイメージを持つ
2	4月25日	講義・演習	Lockの基礎ムーブ②	YouTubeなどを観てLockのイメージを持つ
3	5月9日	講義・演習	基礎プラスアイソリズム	音楽を聞いて習ったLockでアプローチ
4	5月16日	講義・演習	基礎プラスアイソリズム	音楽を聞いて習ったLockでアプローチ
5	5月23日	講義・演習	フリーでLockingを踊る	基礎をおさらい
6	5月30日	講義・演習	フリーでLockingを踊る	基礎をおさらい
7	6月6日	講義・演習	チーム分けをして皆で遊ぶセッション	Lockの技でフリーで踊る
8	6月13日	講義・演習	チーム分けをして皆でセッション	Lockの技でフリーで踊る
9	6月20日	講義・演習	振付をそれぞれのチームでつくる	振付を披露しあう
10	7月4日	講義・演習	振付をそれぞれのチームでつくる	振付を披露しあう
11	7月11日	講義・演習	試験の課題を報告	課題を仕上げる
12	7月18日	講義・演習	課題を披露	課題を披露
13	8月22日	講義・演習	Lockの楽しさをシェア	セッションして遊ぶ
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してLockを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してLockを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Lock(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ベースはダンスを楽しむ事、その中でLockを好きになってくれる人が1人でも多く現れるように指導を努める。						
到達目標	Lockの技を使ってフリーで踊れるようになる事						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	Lockの基礎ムーブ①	YouTubeなどを観てLockのイメージを持つ
2	10月17日	講義・演習	Lockの基礎ムーブ②	YouTubeなどを観てLockのイメージを持つ
3	10月24日	講義・演習	基礎プラスアイソリズム	音楽を聞いて習ったLockでアプローチ
4	10月31日	講義・演習	基礎プラスアイソリズム	音楽を聞いて習ったLockでアプローチ
5	11月7日	講義・演習	フリーでLockingを踊る	基礎をおさらい
6	11月14日	講義・演習	フリーでLockingを踊る	基礎をおさらい
7	11月21日	講義・演習	チーム分けをして皆で遊ぶセッション	Lockの技でフリーで踊る
8	11月28日	講義・演習	チーム分けをして皆でセッション	Lockの技でフリーで踊る
9	12月5日	講義・演習	振付をそれぞれのチームでつくる	振付を披露しあう
10	12月12日	講義・演習	振付をそれぞれのチームでつくる	振付を披露しあう
11	12月19日	講義・演習	試験の課題を報告	課題を仕上げる
12	1月16日	講義・演習	課題を披露	課題を披露
13	1月23日	講義・演習	Lockの楽しさをシェア	セッションして遊ぶ
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してLockを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してLockを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	All Dance Style (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	新しいテクノロジーを取り入れて、新しい表現が次々生み出されていくエンタメ業界を生きる為に、身体表現とテクノロジーを掛け合わせる方法を学び、研究、開発します。 [自分にしかできない]新しい組み合わせのエンターテイメントが創出できるように、「アイデア」「テクノロジー」「身体表現」の3種類のレッスンをを行います。						
到達目標	テクノロジー×エンターテイメントを学んで総合エンターテイナーを目指す 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	授業目的、チーム決め	自己紹介・興味のある事をまとめておく
2	5月7日	講義・演習	ブレインストーミング	自己紹介・興味のある事をまとめておく
3	5月14日	講義・演習	バックダンサーとしての基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
4	5月21日	講義・演習	ストレッチの基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
5	5月28日	講義・演習	ジャンルを学ぶ	授業の復習
6	6月4日	講義・演習	パフォーマンス制作の工程	授業の復習
7	6月11日	講義・演習	筋力トレーニング	授業の復習
8	6月18日	講義・演習	プロフェッショナルになるための心構え	授業の復習
9	6月25日	講義・演習	人間力を磨く	授業の復習
10	7月2日	講義・演習	ステージで使える表現のコツ	授業の復習
11	7月9日	講義・演習	ステップ基礎	授業の復習
12	7月16日	講義・演習	ステップ応用	授業の復習
13	8月27日	講義・演習	振りの確認	授業の復習
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	All Dance Style (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	新しいテクノロジーを取り入れて、新しい表現が次々生み出されていくエンタメ業界を生きる為に、身体表現とテクノロジーを掛け合わせる方法を学び、研究、開発します。 [自分にはできない]新しい組み合わせのエンターテイメントが創出できるように、「アイディア」「テクノロジー」「身体表現」の3種類のレッスンをを行います。						
到達目標	テクノロジー×エンターテイメントを学んで総合エンターテイナーを目指す						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	授業目的、チーム決め	自己紹介・興味のある事をまとめておく
2	10月13日	講義・演習	ブレインストーミング	自己紹介・興味のある事をまとめておく
3	10月20日	講義・演習	バックダンサーとしての基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
4	10月27日	講義・演習	ストレッチの基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
5	11月3日	講義・演習	ジャンルを学ぶ	授業の復習
6	11月10日	講義・演習	パフォーマンス制作の工程	授業の復習
7	11月17日	講義・演習	筋カトレーニング	授業の復習
8	11月24日	講義・演習	プロフェッショナルになるための心構え	授業の復習
9	12月1日	講義・演習	人間力を磨く	授業の復習
10	12月8日	講義・演習	ステージで使える表現のコツ	授業の復習
11	12月15日	講義・演習	ステップ基礎	授業の復習
12	1月19日	講義・演習	ステップ応用	授業の復習
13	2月2日	講義・演習	振りの確認	授業の復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	明日への扉 演技(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	発声・滑舌・姿勢などの演技に必要な基礎技術の習得 感情表現、身体表現、即興力の向上 台本を用いたセリフ練習、対話演技、集団演技 キャラクター分析と役作り シーンごとの演技構成と舞台上の動きの習得 歌唱・ダンスと統合した総合演技の練習						
到達目標	舞台上で自然な感情表現と声の使い方ができる 他者と協働して対話・集団演技を成立させられる 台本の役割を理解し、自分のキャラクターを的確に表現できる 歌やダンスと組み合わせた演技を通して、ミュージカル作品の一部として演じ切ることができる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	演技とは何か？感情表現と自己解放ワーク	
2	5月13日	講義・演習	基本的な身体表現・姿勢・呼吸法	
3	5月20日	講義・演習	声の出し方・発声練習と滑舌	
4	5月27日	講義・演習	感情をこめたセリフ読み(短文)	
5	6月3日	講義・演習	即興劇ワークショップ①(反応を大切に)	
6	6月10日	講義・演習	台本演技①(2人1組)	
7	6月17日	講義・演習	感情の起伏を表現する練習	
8	6月24日	講義・演習	シチュエーション別の演技トレーニング	
9	7月1日	講義・演習	台本演技②(集団シーン)	
10	7月8日	講義・演習	空間の使い方と動きながらの演技	
11	7月15日	講義・演習	小道具を使った演技練習	
12	7月22日	講義・演習	リハーサル①(前期まとめの通し練習)	
13	8月26日	講義・演習	リハーサル②(演出とフィードバック)	
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	明日への扉 演技(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	発声・滑舌・姿勢などの演技に必要な基礎技術の習得 感情表現、身体表現、即興力の向上 台本を用いたセリフ練習、対話演技、集団演技 キャラクター分析と役作り シーンごとの演技構成と舞台上の動きの習得 歌唱・ダンスと統合した総合演技の練習						
到達目標	舞台上で自然な感情表現と声の使い方ができる 他者と協働して対話・集団演技を成立させられる 台本の役割を理解し、自分のキャラクターを的確に表現できる 歌やダンスと組み合わせた演技を通して、ミュージカル作品の一部として演じ切ることができる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	前期の復習と役割決定・配役読み合わせ	
2	10月14日	講義・演習	台本に基づく演技練習①(自分の役に集中)	
3	10月21日	講義・演習	感情と動きの一体化トレーニング	
4	10月28日	講義・演習	共演者との呼吸合わせ・コンビネーション練習	
5	11月4日	講義・演習	シーン別に分けた演技確認①	
6	11月11日	講義・演習	シーン別に分けた演技確認②	
7	11月18日	講義・演習	シーンごとの演出確認と修正	
8	11月25日	講義・演習	通し稽古①(演技のみ)	
9	12月2日	講義・演習	歌・ダンスとの統合練習①(動線確認)	
10	12月9日	講義・演習	通し稽古②(照明・道具の確認)	
11	12月16日	講義・演習	本番想定演技最終調整	
12	1月20日	講義・演習	リハーサル①(全体通し)	
13	2月3日	講義・演習	リハーサル②(公開リハまたは指導者講評)	
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	明日への扉 歌唱(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	呼吸法・発声法・滑舌などの基本的な歌唱技術の習得 音程、リズム、表現力のトレーニング 歌詞の意味理解と感情を込めた歌唱練習 ソロ・ハーモニー・コーラスの練習 舞台上での声の出し方や歌唱中の表情、動作との連動 演技・ダンスと連動した歌唱の練習と総合リハーサル						
到達目標	安定した音程とリズムで歌唱できる 歌詞に込められた感情を表現しながら歌える ソロ・グループにおける歌唱技術と協調性を身につける 動きや演技を伴う中でも歌唱を安定して行えるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	呼吸と発声の基礎(腹式呼吸)	
2	5月13日	講義・演習	音域チェックとウォームアップ方法	
3	5月20日	講義・演習	声の響きと声量のコントロール	
4	5月27日	講義・演習	ピッチ(音程)とリズム練習	
5	6月3日	講義・演習	短いフレーズでの歌唱練習	
6	6月10日	講義・演習	ハーモニー体験(複数人での歌唱)	
7	6月17日	講義・演習	歌詞の意味を理解して歌う	
8	6月24日	講義・演習	ミュージカル特有の発声法と感情表現	
9	7月1日	講義・演習	表情と歌を連動させる	
10	7月8日	講義・演習	動きながらの歌唱練習	
11	7月15日	講義・演習	配役に応じたパート練習	
12	7月22日	講義・演習	リハーサル①(前期まとめの通し歌唱)	
13	8月26日	講義・演習	リハーサル②(講評と改善)	
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	明日への扉 歌唱(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	呼吸法・発声法・滑舌などの基本的な歌唱技術の習得 音程、リズム、表現力のトレーニング 歌詞の意味理解と感情を込めた歌唱練習 ソロ・ハーモニー・コーラスの練習 舞台上での声の出し方や歌唱中の表情、動作との連動 演技・ダンスと連動した歌唱の練習と総合リハーサル						
到達目標	安定した音程とリズムで歌唱できる 歌詞に込められた感情を表現しながら歌える ソロ・グループにおける歌唱技術と協調性を身につける 動きや演技を伴う中でも歌唱を安定して行えるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	前期復習とソロ/グループ歌唱の確認	
2	10月14日	講義・演習	各キャラクターに合った歌唱スタイル練習	
3	10月21日	講義・演習	本番曲練習①(メロディとテンポ確認)	
4	10月28日	講義・演習	本番曲練習②(フレーズごとの表現)	
5	11月4日	講義・演習	歌詞と演技の融合練習	
6	11月11日	講義・演習	ハーモニーとコーラス強化	
7	11月18日	講義・演習	舞台上の声の出し方(マイク・地声)	
8	11月25日	講義・演習	歌いながらの移動・ポジション確認	
9	12月2日	講義・演習	通し歌唱リハーサル	
10	12月9日	講義・演習	演技・ダンスと合わせた練習	
11	12月16日	講義・演習	声のコンディション管理と本番準備	
12	1月20日	講義・演習	リハーサル①(全体通し)	
13	2月3日	講義・演習	リハーサル②(通しと最終確認)	
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	明日への扉 ダンス(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	姿勢・リズム感・身体の柔軟性を高めるための基礎トレーニング ミュージカルに必要なジャンル(バレエ・ジャズ・モダンなど)の基本ステップ フォーメーション、空間の使い方、グループの一体感の練習 表情や感情をのせたダンス表現の習得 歌唱・演技と統合された振付の習得 通しリハーサルによる舞台全体の流れの把握とパフォーマンス強化						
到達目標	リズムに乗って正確に動ける基本的なダンス力を身につける 振付を覚え、グループで揃って踊る協調性と集中力を養う 感情を伴った表現力豊かなダンスができるようになる 歌唱・演技と融合した総合パフォーマンスを舞台上で発揮できる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	ストレッチ・ウォームアップ・姿勢確認	
2	5月13日	講義・演習	リズムに乗る感覚を養う練習	
3	5月20日	講義・演習	ステップの基礎(バレエ/ジャズ/モダン)	
4	5月27日	講義・演習	手足の運動とボディバランス練習	
5	6月3日	講義・演習	表情とダンスの融合	
6	6月10日	講義・演習	短い振付を覚える練習	
7	6月17日	講義・演習	集団での動きの揃え方	
8	6月24日	講義・演習	リズム変化と即興ダンス	
9	7月1日	講義・演習	曲に合わせた短いコンビネーション	
10	7月8日	講義・演習	空間の使い方・立ち位置確認	
11	7月15日	講義・演習	配役ごとの振付練習	
12	7月22日	講義・演習	リハーサル①(振付通し)	
13	8月26日	講義・演習	リハーサル②(フォーメーション確認)	
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	明日への扉 ダンス(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	姿勢・リズム感・身体の柔軟性を高めるための基礎トレーニング ミュージカルに必要なジャンル(バレエ・ジャズ・モダンなど)の基本ステップ フォーメーション、空間の使い方、グループの一体感の練習 表情や感情をのせたダンス表現の習得 歌唱・演技と統合された振付の習得 通しリハーサルによる舞台全体の流れの把握とパフォーマンス強化						
到達目標	リズムに乗って正確に動ける基本的なダンス力を身につける 振付を覚え、グループで揃って踊る協調性と集中力を養う 感情を伴った表現力豊かなダンスができるようになる 歌唱・演技と融合した総合パフォーマンスを舞台上で発揮できる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	前期振付の復習と応用練習	
2	10月14日	講義・演習	ミュージカル本編ダンス①(前半シーン)	
3	10月21日	講義・演習	本編ダンス②(後半シーン)	
4	10月28日	講義・演習	フォーメーション強化	
5	11月4日	講義・演習	演技・歌とのリンク確認	
6	11月11日	講義・演習	振付の感情表現強化	
7	11月18日	講義・演習	通し練習①(ダンスのみ)	
8	11月25日	講義・演習	全体の動線と位置関係確認	
9	12月2日	講義・演習	衣装をつけた状態での練習	
10	12月9日	講義・演習	歌との同時パフォーマンス練習	
11	12月16日	講義・演習	舞台転換含む動きの確認	
12	1月20日	講義・演習	リハーサル①(全体通し)	
13	2月3日	講義・演習	リハーサル②(総まとめ・最終調整)	
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してミュージカルを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	ILC
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	5月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	5月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	5月27日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	6月3日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	6月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	6月17日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	6月24日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	7月1日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	7月8日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	7月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	7月22日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	8月26日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	9月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	9月16日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				

科目名	グローバルコミュニケーション(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	ILC
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	10月21日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	10月28日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	11月4日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	11月11日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	11月18日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	11月25日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	12月2日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	12月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	12月16日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	1月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	1月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	2月3日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	2月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	2月17日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				

科目名	栄養学(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	本授業では、ダンスを専門とする学生が、自身の身体のパフォーマンス維持・向上やケガ予防、体調管理、体型コントロールのために必要な栄養学の基礎知識および応用力を身につけることを目的とする。						
到達目標	<p>本授業を通して、学生は以下の内容を達成することを目指す：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養素の役割や身体への影響について基礎的な知識を理解できる。 2. 自身のダンス活動や日常生活に必要な栄養バランスを意識した食生活を考えることができる。 3. 食事内容を記録・分析し、必要な改善点を見つけて実践に活かす力が身につく。 4. 無理なダイエットや偏った食生活のリスクを理解し、健康的な体づくりに取り組む姿勢を持てる。 5. 日々のコンディション管理やパフォーマンス維持のために、適切な栄養選択を自律的に行えるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	栄養学ってなに？栄養の基本と、なぜダンサーにとって食が大事なのかを理解する。	
2	4月21日	講義・演習	三大栄養素① 炭水化物タンパク質源としての糖質の働きと必要性。食事の中での役割。	復習
3	5月12日	講義・演習	三大栄養素② タンパク質筋肉や細胞の修復・回復を担う栄養素。食品例と摂取のタイミング。	復習
4	5月19日	講義・演習	三大栄養素③ 脂質必要な脂と避けたい脂。脂質の役割と取り入れ方のバランス。	復習
5	5月26日	講義・演習	ビタミンの働き疲労回復や免疫力に関係するビタミンの種類と働き。	復習
6	6月2日	講義・演習	ミネラルの役割骨・筋肉・血液に関わるミネラル(カルシウム・鉄・亜鉛など)の重要性。	復習
7	6月9日	講義・演習	水分と電解質の補給パフォーマンスと水分バランス。脱水と熱中症予防。	復習
8	6月16日	講義・演習	消化・吸収のしくみ食べたものがどう身体に使われるか。内臓の働きと代謝の流れ。	復習
9	6月23日	講義・演習	食品の選び方(基本編)身近な食材・加工食品の見分け方と選び方のポイント。	復習
10	6月30日	講義・演習	栄養表示の読み方カロリー、PFCバランス、成分表示の見方を学ぶ。	復習
11	7月7日	講義・演習	栄養バランスを整える「汁三菜」「主食・主菜・副菜」の考え方を日常食に活かす方法。	復習
12	7月14日	講義・演習	前期の復習ワーク知識の確認とグループワーク。自分の生活への落とし込み。	復習
13	8月25日	講義・演習	前期末試験 基礎知識の理解度確認(筆記または選択式)。	
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して栄養学を学ぶ	ワークシート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して栄養学を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	栄養学(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	本授業では、ダンスを専門とする学生が、自身の身体のパフォーマンス維持・向上やケガ予防、体調管理、体型コントロールのために必要な栄養学の基礎知識および応用力を身につけることを目的とする。						
到達目標	<p>本授業を通して、学生は以下の内容を達成することを目指す：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養素の役割や身体への影響について基礎的な知識を理解できる。 2. 自身のダンス活動や日常生活に必要な栄養バランスを意識した食生活を考えることができる。 3. 食事内容を記録・分析し、必要な改善点を見つけて実践に活かす力が身につく。 4. 無理なダイエットや偏った食生活のリスクを理解し、健康的な体づくりに取り組む姿勢を持てる。 5. 日々のコンディション管理やパフォーマンス維持のために、適切な栄養選択を自律的に行えるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ダンサーの1日の食事設計練習日・本番・休養日で異なる食事計画の立て方。	
2	10月13日	講義・演習	練習前後の食事・補食のイメージ別に効果的な食べ方と軽食の工夫。補食の具体例。	復習
3	10月20日	講義・演習	疲労回復とリカバリー食糧をためない食事の工夫。抗酸化栄養素と回復レシピ。	復習
4	10月27日	講義・演習	体型管理と健康的なダイエット息な減量のリスク。代謝を落とさずに体を引き締める食生活。	復習
5	11月3日	講義・演習	鉄分不足、RED-S(相対的エネルギー不足)について。	復習
6	11月10日	講義・演習	サプリメントの正しい知識とプロテイン、ビタミン剤などの使い方と注意点。	復習
7	11月17日	講義・演習	コンビニ・外食での工夫忙しい日常の中で栄養バランスを取る実践力をつける。	復習
8	11月24日	講義・演習	食事の記録と振り返り自分の食事を記録して分析・改善につなげる方法。	復習
9	12月1日	講義・演習	食とメンタルの関係栄養と気分・集中力の関係。食事でメンタルを整える方法。	復習
10	12月8日	講義・演習	食べないリスクと摂食障害ダンサーに多い摂食障害の基礎知識と予防について。	復習
11	12月15日	講義・演習	実践ワーク:理想の1週間メニュー作り自分の目標に合わせたメニュー作成とプレゼン。	復習
12	1月19日	講義・演習	後期の復習と発表まとめとグループごとの気づき・学びのシェア。	復習
13	2月2日	講義・演習	後期末試験 応用力・実践力の確認(筆記または選択式)。	
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して栄養学を学ぶ	ワークシート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して栄養学を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ボディーメンテナンス(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<p>本授業では、ダンサーが長期的に高いパフォーマンスを維持し、ケガを予防するための「身体管理・セルフメンテナンス能力」を養います。身体の仕組みを理解し、柔軟性・筋力・バランス能力を高めるとともに、日常的なセルフケアやメンタルコンディショニングにも取り組みます。</p> <p>前期は基礎的な身体知識と実技を、後期はより応用的なアプローチと個別対応を扱います。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.骨格・筋肉・関節の構造と役割を理解し、ダンスの動作に応じた身体操作ができる。 2.柔軟性・筋力・体幹バランスを養い、安全かつ効率的に身体を動かす方法を習得している。 3.ストレッチ・筋膜リリース・セルフマッサージなど、身体を整える手法を日常的に実践できる。 4.睡眠、食事、呼吸、メンタルケアなど、生活習慣を含めたコンディショニングを理解・実践できる。 5.自分の身体の課題を把握し、それに合ったメンテナンス方法を選択・継続できる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	オリエンテーションと姿勢の基礎授業の目的説明、正しい姿勢の確認と評価	
2	4月21日	講義・演習	骨格と関節のしくみダンサーが知っておきたい解剖学基礎(骨・関節)	復習
3	5月12日	講義・演習	筋肉の基本とダンスに関わる主な筋肉筋肉の種類、ストレッチとトレーニングの基礎知識	復習
4	5月19日	講義・演習	呼吸と体幹の連動呼吸法とコアの使い方による安定感向上	復習
5	5月26日	講義・演習	柔軟性トレーニング①(下半身中心) ②ストレッチの種類と安全な方法(主に下半身)	復習
6	6月2日	講義・演習	柔軟性トレーニング②(上半身中心) ③上半身の可動域と可動性アップの方法	復習
7	6月9日	講義・演習	バランスと軸の感覚を養うダンサーに必要な重心と軸の取り方	復習
8	6月16日	講義・演習	筋力トレーニング①(基礎編) 自重を使った筋力トレーニング(基礎)	復習
9	6月23日	講義・演習	筋力トレーニング②(ダンス応用) 動きに直結するトレーニング(下半身中心)	復習
10	6月30日	講義・演習	ケガの予防とテーピング基礎④あるケガと予防法、簡単なテーピング体験	復習
11	7月7日	講義・演習	日常のセルフケア①(ストレッチ&マッサージ) 自分でできる疲労回復法(道具も活用)	復習
12	7月14日	講義・演習	日常のセルフケア②(リカバリーの工夫) 睡眠、栄養、入浴など生活習慣の重要性	復習
13	8月25日	講義・演習	試験(前期内容の確認) ⑤	
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してボディーメンテナンスを学ぶ	ワークシート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してボディーメンテナンスを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ボディーメンテナンス(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<p>本授業では、ダンサーが長期的に高いパフォーマンスを維持し、ケガを予防するための「身体管理・セルフメンテナンス能力」を養います。身体の仕組みを理解し、柔軟性・筋力・バランス能力を高めるとともに、日常的なセルフケアやメンタルコンディショニングにも取り組みます。</p> <p>前期は基礎的な身体知識と実技を、後期はより応用的なアプローチと個別対応を扱います。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.骨格・筋肉・関節の構造と役割を理解し、ダンスの動作に応じた身体操作ができる。 2.柔軟性・筋力・体幹バランスを養い、安全かつ効率的に身体を動かす方法を習得している。 3.ストレッチ・筋膜リリース・セルフマッサージなど、身体を整える手法を日常的に実践できる。 4.睡眠、食事、呼吸、メンタルケアなど、生活習慣を含めたコンディショニングを理解・実践できる。 5.自分の身体の課題を把握し、それに合ったメンテナンス方法を選択・継続できる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	前期の復習と個々の課題確認テストの振り返り+自分の体の課題を知る	
2	10月13日	講義・演習	足・膝・股関節のメンテナンスⅢ半身の可動性と安定性の強化	復習
3	10月20日	講義・演習	背骨・肩甲骨・首まわりのケアⅢ猫背・巻き肩対策と肩こり予防	復習
4	10月27日	講義・演習	可動性と安定性のバランス動ける体とブレない体を両立させる	復習
5	11月3日	講義・演習	フォームローラー・ボール活用筋膜リリースによるセルフケア方法実践	復習
6	11月10日	講義・演習	ダンサー向けピラティス①ピラティスの基礎動作と体幹意識	復習
7	11月17日	講義・演習	ダンサー向けピラティス②応用編:動きに連動したエクササイズ	復習
8	11月24日	講義・演習	瞑想とメンタルコンディショニングⅢメンタルケア、集中力、呼吸法など	復習
9	12月1日	講義・演習	怪我後のリハビリと段階的回復Ⅲリハビリプログラムの考え方と事例紹介	復習
10	12月8日	講義・演習	栄養とボディコンディショニングⅢダンサーに必要な食事の基本	復習
11	12月15日	講義・演習	実践的セルフメンテナンスルーティンⅢ日々のケアメニューを自分で構成してみる	復習
12	1月19日	講義・演習	最終確認&発表自分の体と向き合うまとめ(実技または発表)	復習
13	2月2日	講義・演習	試験(後期内容の確認)筆記+簡単な実技テストまたは自己評価提出	
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してボディーメンテナンスを学ぶ	ワークシート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してボディーメンテナンスを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				